



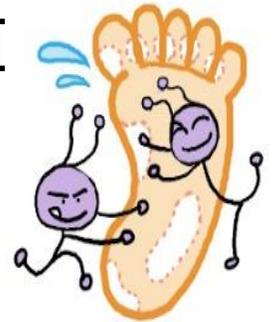
●検査部より

こんにちは。臨床検査技師の平田です。

今回は、糖尿病患者さんの感染症について紹介します。

糖尿病患者さんの感染症についてⅡ

「水虫」について



江戸時代に「田んぼ仕事」をする季節になると、足にポツポツとした水泡ができてこれが非常にかゆかったそうです。

当時は、足白鮮(はくせん)に対する認識がなく、「水」の中にいる「虫」から刺されたと思いこんでいたようでこれが「水虫」という名の由来です。

血糖のコントロールがわるいと、「水虫」や「カンジダ症」などが、くちびるや陰部などの皮膚のうすい部分にできるので注意が必要です。

対策は、からだを清潔にし、毎日入浴することがのぞましいです。

足の手入れを習慣づけ、小さなキズや水虫も早めに治療することが大切です。



参考：三和化学より

